PICKIN' SINGIN' GINZA
Rocky Top かわら版 第43号
'99, 6, 1 発刊

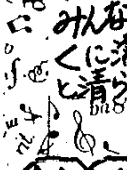
Yeah! 新ストマスター No2
～エアロビに反応するの巻～ 作 チーフ井上

拝啓 June

6月です。ロッキートップも年の忘れ物が増えたり、はたまた急の雨でお客さんに貸して減ったりと、雨に湿った日々がやって来ます。みんなに嫌われる時期だけど、雨のばくに濡れる赤や紫のあじさいは、やたらと清らかで美しくて大好きです！

ちょっと見て下さい！お客さんからのプレゼント！

①鹿の角 → ウエスト・オブ・ザ・ムーンの後援会長 **須田さん** からいただきました。ステージの左、テレビの左側にあります。以前須田さんが北海道で見つけ、気に入って購入し家に置いていたものを「ロッキーの方がよかっぺ！」ということで、わざわざ持ってきていただきました。



非常に型の良い美しい角で、ロッキーの年季の入った木の壁にパッと映えわたっています。ちなみに入口を入ってつきあたりの壁の右上にあるのは、マネージャーの息子さんがアメリカから郵送した牛の頭です。物の値段より郵送代の方が高くついたらしいです。それにしても須田さん、ありがとうね！

②ロッキートップコーラ1lびん → 入口入ってつきあたりの壁にある本棚の上にあります。10年前、アメリカのお客さん **ニールさん** にいただきました。ニールさんがカリフォルニアで偶然見つけたものらしく、アメリカでも珍らしかったみたいです。びんに生産地とか書いてないのですが、さすがアメリカらしい類似商品ですね。10年熟成させたコーラの味はどうでしょうか？20周年記念に小柳さんに一気に飲んでもらいましょうか！

チーフ井上が役者に？

文、本人

みなさんこんにちは。最近僕の彼女が劇団員ということもあり、虚構の人達と仲良しになりました。そのかかわりで、6月の18、19日と山梨において、松下竜一という作家の文の朗読会において、バックでギターやマンドリンを弾き、時には歌う、という新たな形の朗読会をやります。「井上さん、芝居もやっちゃいなよ！」という要請も強く、今年12月にやる「幕末純情伝」で主題歌を作るのと、さらに役者として出演する可能性が出てきました。ちょい役ぐらいでやってみよーと思ってます。芝居のけい古を見てるとおもしろいです。大の大人が真剣に遊びているのです。「風鈴をここで鳴らせ～」とか、「そこで立ち止まってお客さんに背中を見せろ～」とか爆発する演出家に気合で風鈴を鳴らす裏方、命がけで立ち止まる役者。いやー芝居とは遥大なる遊びですねー。誰でも日常、多くは自分を演じてるだけに、何ともこっけいで滑稽なのです。ドンドもいいけど、芝居の舞台はまさにたくさんの人間の協力の中で成り立つ総合芸術。人間奥くて、なかなかはまってしまいそうです！

ライブ Pick Up！

6/17(土) カントリースペシャルナイト

大野義夫 スマのロッキートップ！ ピアノに伊藤公子、ベースに片山さとし をしたがえ 大御所 大野さん、熱く、しぶいカントリーを爆発させて下さい

7/4(日) セタコンサート

毎年恒例、女性ボーカル大会です。

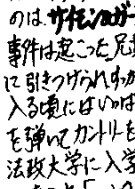
出 モーニングミルクティー (Vo 古崎恵子)
ダ・リンズ (Vo.G メイベル・ジンタン)
ハーベスト (Vo.Ma 織田佳容子)
ロッキー・プロジェクト(仮名) (Vo.G 小野まりこ / Vo.Ma 平賀智恵子)

ゲスト 中村澄子 須貝三恵子 西海ミカ 加藤淳子

セッションタイムもあります。PM5:30 Start～10:30まで
¥2,800(1ドリンク付) 是非来て下さいね！

新 カントリーな人達 ～Meet The Country Music～ No.1

ブルーグラスとの出会いを紹介してきた「ブルーグラスな人達」は今回休ませていただき、カントリーにスポットを当ててみます。ブルーグラスもさることながら、カントリーは日本でいえばべたべたの演歌、そんなアメリカの濃いハートに打たれた想いを語ってもらいます。第1回目は **トニー中村さん**(40) この若さで、なぜカントリーの世界に入ってしまったのでしょう？その謎にせまってみます。



→ 子供の頃、家にあったドーナッツ盤のレコードをよく聴いた。ほとんどが、兄貴が買ってきたものだった。**キングストン・トリオ** などのフォークが多かった。子供の頃から、なぜか邦楽より、洋楽が好きといわせたがきだった。しかし当時は邦楽のレベルが低かったのか、クラスでも洋楽ファンは今より多かった。カセットテープに色んな曲を録音して聴いた。**T-REX Deep Purple Cream** などプログレッシブロックも好きだったが、一番好きだったのは **サイモン&ガーファンクル** だった。初めて愛したアメリカのにおいだったが、**「何かが足りないなー」** と思い続けていた。そして中2の時、事件は起こった。兄貴が古い **ハンク・ウィリアムス** のLPを買ってきたので、初めて聴いた時、**「何これ？ハワイアン？」** だったのが、聴いてるうちに引きつけられ、すっかりはまってしまった。**「足りないもの」は ハンクだったんだ！** それからはカントリー一筋にレコードを集め、ラジオを聴いた。高校に入る頃にはいっぱちのカントリーファンになっていた。当然高校では理解されず、すっかり孤立してしまった。中3ぐらいからギターを弾いてカントリーも歌い始めていたが、高校のバンドはロックか、フォーク(風や吉田拓郎)、ならば大学に望みをかける。法政大学に入学し、その名も **カントリー・レンジャーズ** というクソな名前のサークルに入る。「中村君、君はどんな音楽やりたいの？」と先輩にきかれ、「ハンク・ウィリアムスです」 **「じじくせ～～！」** と大学でも変わった存在。でもカントリーバンドもあり、ここにくバンドを始め、色んなものにチャレンジした。ロックバンドで歌ったりもした。(**オールマンブラザーズ** の16もやった！) 大学4年の頃から、カントリーの7名の人達と仕事を始めるようになった。ハンクなどボトムな部分を押さえつつ、自分は **新しいカントリーをやろう！** と悟りはじめた。本来は **アーネスト・タブ、モーレンブー、ジョージ・ストレート** とライブサウスで一本に伝わる人達が好きなのだが、カントリーをやってる人はみんな好き。自分は自分の道を行こう！と就職もせず、プロの道を歩き続けている。夢としては、日本人が作ったカントリーソング(詞は英語)を、アメリカで売ってみたい！そのためにも、良いステージをして、感動を与えるカントリーをやりたい！との事です。古いカントリーから最新のものまでしばく激しいサウンドのトニー中村&スティルサイダーズを是非一度見に来て下さい！→ **6/25(金)に出演！** Pay Dayだ！

ロッキートップのホームページを見て下さい！

http://www.asahi-net.or.jp/~sd5h-mksm/rockytop12.html
と
イシバシ楽器 http://www.ishibashi.co.jp